（臨床研究に関する公開情報）

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

2 型糖尿病患者におけるチルゼパチド導入前後の腎パラメータの変化に関する後ろ向き観察研究

[研究責任者]

江南厚生病院　内分泌・糖尿病内科　有吉陽

[研究の概要]

チルゼパチドは GLP-1/GIP 受容体作動薬として新たに登場した薬剤であり、既存のインクレチン関連薬よりも強い血糖効果作用と体重減少作用が注目されています。また近年の糖尿病薬の役割としては血糖降下作用のみならず心不全や腎不全など多臓器への合併症予防の効果も重要視されています。いくつかの臨床試験では腎不全に対する影響を認めていますが、実臨床（real-world）における腎機能へ与える情報はまだ限られています。本研究ではチルゼパチド導入前後の腎機能に関連するパラメータの変化を収集することにより評価することを目的とします。

[研究機関]

実施承認日から 2027 年 3 月 31 日

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2023 年 4 月 1 日から 2026 年 12 月 31 日までの期間中に、当院にてチルゼパチドを新規に処方された患者で、6 か月以上継続可能で電子カルテより臨床情報が得られる方。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、併用薬剤、導入時の身長・体重・BMI、治療開始前後の血糖、HbA1c、eGFR、尿中アルブミン等の代謝パラメータ

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院　内分泌・糖尿病内科　有吉陽

電話　0587−51-3333　　FAX　0587−51-3337